青森県総合社会教育センター主催事業報告

黒石高校　ワークショップ

１　ワークショップに係る学校の要望等

企画のカテゴリー	□ 大学進学 ■ 将来の進路 □ 多様な価値観 □ コミュニケーション □ その他
実施する目的	年齢の近い大学生がどのように高校生活を過ごし、何に悩み、どう解決してきたのかを聞くことで、生徒各自の進路決定に役立てる。
ワークショップ終了後の目指す姿	主体的・計画的に進路を選択することを、自分のこととして捉えることができる。

２　要望を受けた上でのワークショップのテーマ

テーマ「　チャレンジ　」

この企画のカテゴリーは「将来の進路（夢）」で、実施する目的は、年齢の近い大学生がどのように高校生活を過ごし、何に悩み、どう解決してきたのかを聞くことで、生徒各自の進路決定に役立てることから、テーマは「チャンス」として企画を進めます。

理由は、わからなかったことがわかったり、できなかったことができるようになったりする体験を通して、自分にもできるようになる力があることを知ってほしいからです。

このような目的を意識しながら進めていき、今まで知らなかった自分に出会ってほしいです。そして、自分も「ちょっとでもやってみたらできるかもしれない」「わかるかもしれない」という気持ちを原動力に、実際に興味を持ったことに希望を持って、行動に移してほしいと考えます。

３　参加生徒数

第１学年　１３１名

４　報告

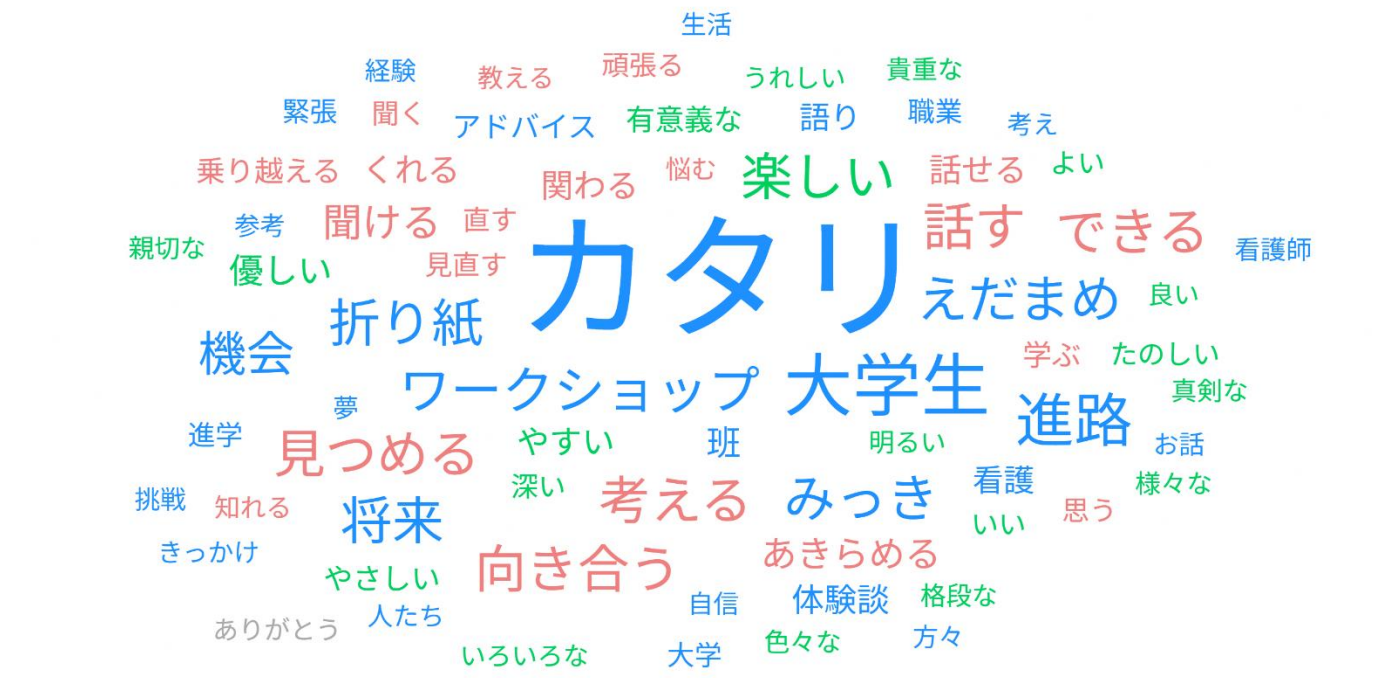
（１）参加生徒へのアンケート結果（有効回答数１２３名、有効回答率９３．８％）

ア　有意義度調査

１　ワークショップは有意義でしたか？	３．８５
２　ワークショップでの活動において「今の自分・これまでの自分」を見つめなおす機会となりましたか？	３．８０
３　ワークショップでの活動は「将来の自分・進路選択」について考える機会となりましたか？	３．８５

※アンケートはすべて４件法で実施。数字が多いほうが高評価。

イ　自由記述によるテキストマイニング分析



大学生との対話や折り紙・ゲームを取り入れたワークショップは、高校生の緊張を和らげつつ先輩の具体的な体験談や進路選択の実例、勉強法や失敗からの克服法が好評で、励ましや具体的アドバイスにより「今やるべきこと」や選択肢が明確になって不安が軽減され視野が広がったと多くの参加者が感じており、班活動での意見共有や大学生による積極的な声かけが協力や共感を生み折り紙での成功体験が挑戦意欲を高めるなど実践的な効果も確認された。

（２）学校へのアンケート結果

１　ワークショップの満足度は？	4
２　学校としての実施目的の達成度は？	4
３　生徒がワークショップへ参加している様子から、進路や目標を明確に意識できる様子が見られたか？	3

※アンケートは５件法で実施。数字が多いほうが高評価。